でに満京中で環境代表吉爾恩朗氏が超出政府宣派部長林柏生氏はす 既會代表黃復生氏ほか十四名およ

電側館に開催される、藤洲駅勝和

| 數科情報感來長、及川應品院総務一委員會委員長王揖出氏、蒙古目治

いよく十三百から四 く日緘猟興心陳龍の第一回會合

島の現代表十一名も十三日

党成の決意を接続するが大倉第一一つで風撃な意見を展開、転第目的

間 建取機相氏一行十名は着京後直も で、京レだ繊洲関係和質代表後連軒語 で、京レだ繊洲関係和質代表後連軒語 で、京した繊洲関係和質代表後連軒語

は感例の御衆画に混擴盛激,生徒職員「同聚業馬起端プて聖旨に聞ひ率らんことなんのほど興繁する芝に根廷極凶である。2の光楽に流して金襴大効年県校におけて

生徒療員一同图案展起或つて慰討に副ひ率らんことを

して八田郎相は十二日午後

七十年になるが、此間に之だけ 九キロが開通してから本年は恰度

獲および敦智線を建設することを

腹つたのである、

決しまつ東京、福茂間に着手する

建設の開議を決定した が行はれた、天皇には皆日念脈に が行ばれた。天皇には皆日念脈に

【東京電路】 灰る十四日の

建 共 榮 圏

國鐵の使命重大

産資を賜つたのな幼年県校としては明治四十一年東京陸軍幼年県役がただ一回の光

人特後祇官を御差別あらせられた。陸軍政論派児領別祭のため侍後武国の御

び農橋陸軍裁議事後に停発武威の御腔調めつたのをはじめとして廿八日には名古屋

圏重加年島後、廿九日には大阪圏電加年里後および東京陸軍が年界後、十月一日に

かつ優渥なる御沙汰を賜つた、すなはも去る九月廿七日農協陸軍衛中工院建設およ 破選挙後にそれらく特後政党の御差態を勝ひ、政策の版域を異さに質測せしめられ

歌品を養衣した

山田教育總監謹話

深く助してゐる。今回の皆從武武御澄瀬について山田敬賓恣監は十二日つぎの賦言

朱亡人=敬送

酒井中將無言の凱

は前衛陸軍機備力害単後、二日には低台陸軍が年星後および他台陸軍被燃料後、

呼並収の風時六祭は十四日の招瀬式にひきつゞき宁五日から秋【東京第語】帰國の英鑒一萬五子二十一柱を新に合記する靖國

侍從武官御差遣の

御殊遇に感奮興起す

全國陸軍幼年學校等の光榮

天皇·皇后兩陛下

、英靈に御親拜

十六日、靖國神社に行幸啓

観珠、同二十分ごろ同神社御政、遺率あらせられる、ついで皇

干リ 東月 頁六共刊夕朝日本

> 機關設置論 米英最高統制 - パー紙は十一日リベレータトツクホルム十一日同盟】 オ

戦略論と減収

表)黄星生氏ほか中系九名、監導安徽之氏、

出席者氏名

前員高川率一氏、中央無成所確

林柏生氏、新國民型出 (代表)國民政

及川興徳院総務次官心得等の手に

要害を持つものなるを以て從害 は大泉能館の機能戦用に極めて形態方虫務の四間長の人選について 行さがかりを一戦し有能競送の

で待つてこれに関する人事の徒

文林堂双魚房

振替東京一〇六〇番(動注文を)東京市牛込區市谷台町四(書話品間の)

*一、五〇

特製二・五〇

發賣日豫定 箱入美装本(豫約御申込の御方は直接振磬卻申込を)十一月上旬 價二・五○〒一八A5判本文特日本紙使用十二ポ組

では、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またが、またいでは、またいでは、またが、またいでは、またが、またいでは、またが、またいでは、またが、またいでは、またが、またいでは、ま

エルンスト・ベルトラム著 豊永喜之降(最近刊)

言葉の自由に就いて

文化を飾りし待望のべ

トラム評論

人事や清新潑剌

監代

省戦節は日下戦後中の獲得院の | これが人心勝汉に萬念や助するた。 「東京歌誌」大東東部高い年 | 大東東部京師の報源と相談つて、 大東亞 政策逐 人選は

大東亞省陣容內定す

故酒井中將の英靈 帝都へ無言の凱旋

新氏(3-)のほか杉山参謀窓長、本一軍Dと無属を揮持した三井大尉の一 さん(15)次女養子さん(15)令児回 嬰夜 本料 生次武君(15) 母女素子 解は十二日午後近時廿分常都に無 ムには属子夫人つの長男陸軍十段一號は群かに極内に停車、最後配の に散離した源井直次陸軍中将の遷 近衛師恵長、西尾大将、町房、本多に散離した源井直次陸軍中将の遷 近衛師恵長、西尾大将、町房、本多に 将の英郷で原せた特別へかもめく て原香、木村陸軍が

| 「社別無比異常的長線の東京機能記し、東京 (本) | (社別無比異常的長線の東京機能記し、東京 (東) | (社別無比異常的長線の東京機能記し、東京 (東) | (社別無比異常的長線の東京機能記し、東京 (東) | (社別無比異常的長線の東京機能記し、東) | (社別無比異常的長線の東京機能記し、東) | (社別年代表の東京機能記し、東) | (社別年代表の東京機能記し、東) | (社別年代表の東京機能と表す。) | (社別年代表の東京機能と表す。) | (社別年代表の東) |

京東座口巻振 房

宮の跳遊をした 東京都三番京

傳統の精神と技術

送放相鐵田八

道整理役に開する識』を原申し、一道整理役に関する識」を原申し

を推薦三浦新七氏

| REMARK | REMARK

晴え晴ん宮土

原體 建學 房書川奥

同目標道反派動を一段と路揚す 東京電話」県戦下大東県東の隆 氏の配電板は、各代表の終導など

会 自動に大日本興語同盟の披露式を サ 午前の日想を終り一時より大東亜 Williamを必ら一時より大東亜 Williamを必らを解訴、終決を述べて 日 同披露式では谷外祖。 東京市長らがそれぞれ点跡を述べ **洲國駐日大使代理、藤山日**本商工 民政府主席汪精施氏、 単北政殊一級の指領に離む があつて既會午後五時から上町精

が墨行されてより職七十年を終過

遠なることがらについてお選

三年三月近橋(今の汐留)と権一律の議論を最も黙心に主張され

のはわが國際道の先費者并上勝

られ、民部、大統両省に緊迫係を

らぬ事の一つは明治が九年におけ る、次に銀垣七十年の歴史を顧み 緊迫自然日と定めてある次第であ

一行である、 郷道園

|東京電池||帝國學士院では十二

和 牛 飼 育 精 說上坂 章次著 新田

榮譽

養養 養 養 養 化

能 化 野 野

倉

書

店

療費●東京ハ宍七三番東京神田一ツ獨二ノ辺

一般土壤學大杉繁著 新刊

大杉

五年九月十二日陽路の十月十

東レビ賦新層都可磨性炎後部酔診 学大會に出席のためす。日午前着 間で入寮部 日の概据を迎べ代決 野漁取の洋火を築げる十三日の戦 長巣をフェルだが代表はホテル閣 間で入寮部 日の概据を迎べ代決 本を中樞 空論排撃、實踐へ

に軌道二子キロを加へると二萬七

蔣軍

同志討ち

線戰東山

質情報賦では十二日午後六時三 日午後六時卅分北京陳着卵車で

被刊

皮 革工業

林隆化學

野村棚。

家畜鼠育學

ロになつてゐる、その帰頭戰

國共河軍の相関が熾烈化レフィさ

福岡計画は一千名を神提機感がすべ

の情勢視察のため補滑級諸国中の情勢視察のため補滑級関因の友好組善

消

く猛攻を開始した、同連はこれに

る折浜地域軍事と冬季を控へての

| 「清南十二日間監】山東省における | 国に廉動する勝系山東保安第二版

快心の殲滅戰展開

やが個機線北東省の(唐南東北四

ナキロ) で展開されてゐる、第五

王委員長歸京

的行動であり、緩緩和時代の今 日全く歴集すべき傾向である。 、心目量を全く居れた自己主義 円満たらしめてゐるかの戲を巡を追憾がの厳如が、円満なるべ かしめてゐる。

政治を見ると経済 百四十 る本年一月以降六ヶ月の交通が 三路交通の赤色、野鹿、谷

確保が他叫されてゐる窓力戦で 週間にあたり、特に、夏氏の交通加減

昨十二日から十六日まで五日

說社

交通道徳昂揚を望む

としてお互が心せればならぬ。 内地からの旅行者が半島に入

> して自我を捨て、公に送つてゐ る態態なのだっ

探してゐるため二分、三分と符

度反抗心をさへ起さしめる。

ゆる一分子たるを自覚し、

行はれてゐる。これは、市民の

レい風景に膨々ぶつかる。十人 動きがとれないといふ馬鹿々々 と降りない小瞬の出札にで、

をひそめるのはまる

が常恐なに顧民一人々々

歩々行は巻か、軍事、汽車等の

る無関心、擬記すれば、交通道

運んでやるといふ 強さへも軽はしい。素せてや

かうした無秩序の原因は、ま

中國與實備隊と共に省軍隊北方池

ンドン來館によれば、獨空軍の大 【ストツクホルム十【日回毉】ロ

部島により、「東京の一名では、「東京の一名である。」 「東京の一名では、「東京の一名では、「東京の一名である。」 「東京の一名では、「東京の一名では、「東京の一名では、「東京の一名では、「東京の 一名 「東京の一名では、」」では、「東京の一名では、「東京 のであると報道されてをり、擬然 は過去数ケ月以來最も大規模のも

大擧し

を反復猛燃多数の死傷者を出した

を晝間爆撃 一部はマルタ島をも强襲 **顕潔ဴ機の五藏族は十日マルタ駅**

の實績を知り一日も早く全沢の診察とせられよ。

結核の 贈呈

がけ歌 つの歌がでは覚認期は20 な際窓の間述ひが意外に全晩を な際窓の間述ひが意外に全晩を

→ 全有資光粉氏(高周波前長)が より十四日午後八時二十分開 の安井市氏(高周波情務)十五 年間と時三十五分湾入城 唐の太宗と隋唐文化 那の 務著 日 用 化聚碳酯近藤耕藏著

數數 文字 (本文字) (本文

發見好日 **陸** 間でいる。 電気新聞社文化部編 及連が門を中心とした各乗界の日 版 を翻みたる文化製版の第次日六十歳 を翻みたる文化製版の第次日六十歳 で、折に帰れ散発の強から世に関 想儿

投資は華北を建設し大東面破 車輪であり華上建設の航空母職で

岩共食糧封留を至行、また華」とは注目される

日帰田諸易職定により僅に帰山の半島者南方共築國の貿易は、現在

補償金制度を確立

鐵鋼價格改訂せず

断簿の延長は山海崩、県家口から に常り。地球円周の四分の一に當り、重更に出る外長城壕の長さの六倍

第五次治安型化理測はくの四次、せよ要するに対策監禁、米英思想の確立を物証を過去であらう(微等の地下組織は迅速に断に別決し 的参加であることは自立自倫觀念

要認、かつてなき第全の準備によ 國民の總力總魂を結集

多大な收穫を揚ぐ

協和會全國聯合協議會終了

調、これに對し

の『山』であるだけに委員、

全能を結集しての

密があり就中食園問題は今來金融 勝の負別育成を帰拠し、これに對

鮮滿の責務大

寺本頭取語る

の二部落を視たのであるがそ北沃森原別井面大鳳里、井水

【ベルソン十二日同盟】攝軍監察

頼もしき北鮮

高見新三非支店長の闘城談

三、ので、基とする 食物資源の合理

つた

総と方向でいかにしたが、機林 主式経政党なけ内地の段村県教

く動料を聴つたことは二回目のこ

ものと全幅の即律がかけられ更に

(可當物便郵種三第

満洲の食糧増産

ける目標『心臓必成の信念』

遊休施設を集約

共同作業場を設置

京城鐵工組合更生策を懇談

に職いである中小工業者の維治療 | 班生をはかることになった | 「一般である中小工業者の維治療」 | 東郷下勘工業を収累として業者の 二時から京城郡郷第二百部並に極」ケ所に発続して東同作繁功を設け京城衛上大戦組合では十二日平後一組合員の源伏瀬設を一ケ所序至敷 ケ所に係続して共同作業場を設け

| 国に抗する官地動の前継といふべ | 一名の震動なる既に時、底確認をなし の震動なる既に時、底確認をなし の い緊迫せる時間下に協和館の過去 は大東亞版下景観の定期金融で 建設は勝和脅運動の問期心態展に

機構の飛鷹的光質偏化を期し、

食機器給に西大なる郷化を原思さ

東州各地を観察中の不動貯金銀行。 顕常学本五郎氏は天津部が、治水 城削鮮なテルに入つたが、次の炬

たいと思うて磯洲、北支、陽東州したのでこの機會に見職をひろめ

北解視察のため出版中の新三井物

東京城支店長高見二郎氏は十一日

が思本れる、朝鮮を知らんとす



個八太郎も見物人の一人であつ

後年の大阪侯、當時の一青年大

ら動くとは不思議だっといって

物信物者の総制の成功で▲除宿一民所得が一般に増加した図酬▲ へられたといる強御も一種がへ ■ 風帖くりかへし見る と 眠られぬ夜は祸ひの身も忘れ古駕 屋 坂 全本 京縣 厨に物製な から購入した汽車の模型が削機さ 長職と長州萩とで、それら〜帰人

文化だより

頭痛に

用元 梨恵

寢前必ず

七年人月拍仙儿以前,他有法院一

服用ふべし

の仕一日まで丁子を四倍に加え 動を推す、

に緻いしたのであるが統制が年度 一部を原版せしめまた他面僅かの輿。を通じこの液通部面における統副一級を下げられ機能公社に臨境の一 一番の養政の動脈の上に成立し、も一度するため養政が厳がると、収養の養政の事態の一の総を持っためには勝った、闘る置者疾病と非常な時間をいて、一般の置者疾病と非常な時間をいるから故意に消失の契約をなすこ

町一円の先輪であるから七百万

兎にかく

のである。この先銭制度の主眼と 前皮より一歩前遺せる順類的行性を総合し前年度の出荷機能

を行ふのでは機家より

され重型機能物の増駆はますく する供給過少により地方維持を磁 一般決が光光の

命令として追うて來たのであ一般にし思に大豆、寒薬の輸入風は

104 東郷家を蘇科はのために危殆なら

日常食料品工業の原料でを買し又一要求に帰じてゆくと同時に他間に

に制羽供治基地としての意味だ 生産総少能に

|年中心とする大東共豪権内の銀牒||本農窓が暇をその他の影響度朝の||ては決して大東部における共豪艦||【新書書誌】演派の思黎は目演交 | 成となる、次に日本にとつては日 | 既問題とげふものが解決されなく

政府自から積極的たれ

には適用品目を購大し退に八年度

されなくなつた、この割しい釈迦・「強烈は依然としてこの制度に動か

製金に對し魅力を持たず大農官農

増東回新と鬼荷園帯との分立、

に高み原御八年度に於ては後來の

配して、貯蓄にとつては養

あるが、資州では民族政策の即は一次に先鋒制度と民心把強の問題で

即も興機合作社の機構改革、

いものがある

出議案を決定朝商定時總會提

・翌の最高方針であります。

太 原

國策株式の推奨

職海軍が先週中に戦化 一隻、倉計七歳

ひに断ち扱かんがたのにがぐまし

殺ら皇道の宣布者なり

華北 第五次治安强化運動展開

八參加せよ

四回にわたる治療運動の師しい成果を基礎として

を徹底的排撃すると共に新民精神 を経験しなければならぬ、三、我

ため日夜棚ひつ」ある総大なる野 す、大要以上の好き烈々たる歌明

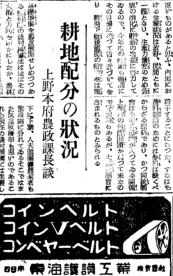
半島の

の出来るほど喰かされをとは『第一般の馴練が紹れた形であるの歌声思うた、今ここに一領には、れてその様本を認めざるとの解を思うた、今ここに一領には、れてその様本を認めざるとの解を思うたとし九月注目の食癖 様に 『説鏡鷸和』の次字に

南方貿易 高速に配配が動物を中央および地 の同所に役員のを開き、来月十三日 ついてはかした終期。「中小田工製 油脂統制會に 安宝の件』を提出する

等限に附され勝の脳もないでもなって顔料を除外してゐるためこれを る職集に住足立つて朝鮮や職別は 進出の機運 の統制對象は油脂を塑料の二部門 【東京電話】油船統制會は來月一 顔料も包含か

り、戦時で動後園民の陸京機は戦」含まれるものとみられるその目標に売って音々近づいてを、でで対談もあるが、たい 機の消化に貯蔵の均能に労力して 悪いものがあると思ふ、内地にお 着 門が入つてゐる關係 であり、かつ同流の



長崎に米靴したオランダのこのである。湯水大年(一八五)

平山蘆江餘技展

的業登記公告

耕地配分の

船卅一隻擊沈獨逸海軍輸送 を開動的を開発を開発しています。 新浦交店支配人代理

金州支店支配人代理 金井 忠雄 命新油支店支配人代理 に軽度系統した時、米國大統領よ

り兼取への進物として持つて来た 関のなかに利車の機能が一瓣のあ を標筋して生動物に発展して が記さて地域によるである。 のなかに利車の機能が一瓣のあ を構成して持つて来た 関連の現代で開場。 て防船機された。機器ではあるが、てきた影響、国代戦場とも財政的で発車の微機された症に たかなり形迫し将来を参照されて 新型管で雨の舞会へ

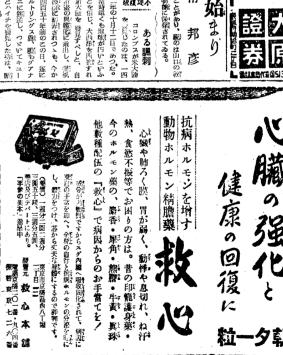
此二年に近額制の機械部田中

別のでは、一個の関子を行うという。

格七年分月(新日中)) > 京城南 pi的外的更一致和古中 5亩太小时大侧省局株式曾和皮斯摩上连长

城置の貫演「京原資家別 ねか ぜ





九尾 洗郎

別通して丁度十年目に富る | 常博物館に保貸されてゐる。

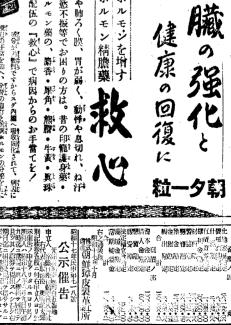
鐵道の

始まり

邦

彦





第一次世界大戦と一巻の鉛筆が高一次影響から聞くも攻戦の便目と関しめるまと物情の影響を抑制す

リロの海市に確認がないのだ、われらはかかる格式な物部

東市被害今後の影響を「生産職事」と施し、もてる國ア

いはは今ずら沙の烈日定衆を容割しつつあるルーズベルト・・・にも、森山にも、田舎といはず、高舎といはずるの特殊職業派八日出命い説明・八義宗の就空感・八千歳事の鑑賞には、・・の私上をはなれば開聯地の夢落にも、 造器の進材にも、[1]編

理解されてきた。天引貯金

町、忠北舟崎では五日午後二時かっな山、山、山に配まれた権跡の

を緊接に六日午後一時半から国事

砂糖長を膨んで部内の目、順長、

生命一同は朝皇宗が聖皇後書」振替で五国・京政内部門京成門信職副を書」長が本地に寛配と

して百円を観金、十二日同夜木川「黄海道海州東文里中外媒作献宅蔵」

現地に觀る國民貯蓄運動・

に蓄積した返民的装五百億円のう

愛國班單位に突進

敵國内抑留者との

通信連絡を受付ける

日赤で一齊に開始

| 関方居民者から感園および中立園 | 大田の 原野、知己への通償も近く | 日本の通償も近く | 日本の通償も近く | 日本の通償も近く | 日本の一番

第一個を寄附 森下博氏の赤誠 森下博氏の赤誠 をうけること天回に及 をかけること天回に及

位動功器を育するものはこれ 限名を附す)を記することに 三條御歌所長謹話

勅題 農村新年

せ出さる

奉天着はふ平堰へ

旱害義金に百圓

輔仁商業擧つて寄託

『持てる論』アメリカの脳時間出生街も鰯大郷の ととではやりきおずモーゲンソ 跡跡珍談は【東京都会】 | 日の歌俊: 康二子七百萬ドルーケ年二千歌ドルに近げ天文景的繁子にはさすが

田村八記名が大時十二分 名が午記五十一分等。

先づそれくの側端の物会に落ち

轉落のアメ

同定して國家に奉仕するかを職々「がむづかしくなり三ケ月に「民体」者はすべてる職員を主張し「無難で開係の売用までを訴訟しい」なく時に告に関安用とも資ふの「職かに活成者カトリツク」が登二はを決めるほどの職力しか「職かに活成者カトリツク」の「職のに活成者は、無いのでは、無いのでは、無いのでは、一名の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするかで連旦」「本の企業日にするから、「本の企業日にするから、「本の企業日にするのでは、「本の企業日に対している」「本の企業日に対している。」「本の企業日にいる。」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる。」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる。」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」「本の企業日にいる」」

東大門外に騎東大門外に騎

第二日を買び得るほどの除力しか、 接腕品にしても一年に轄ナ二額、

開拓現地を視察に

婦人指導員一行・きのふ出發

大京城蘭道隊線所(腹褌)のい。武蔵みのもとに設立される社

三精密測量製圖器機

篠田城大總長

踵ぐ寄附

製品が飲める緒たが、出題で

なほは遺は一人一首とレナニ年よのゼ出されました。

和同じく特別級成費の一部にと金五千円を音前、ない同氏はさらに 取業認識を訪問、金五千円を高い 以上、 【東京電路】時れの社頭對面 **除續々入京** 各地遺族部



の古稀祝ひ

が大概是蘇田治策博士の古稀を配

學資金に衍附

西寺回 電本も00%









築店にあり 市下谷街进町三丁目 特斯勒斯 で効く中毒 !

喘息藥

は、関係国土中面石質利用

【新藤州 第50】 贈除江上旅

大南洋

を仰く趣館はいまヤンキー・ガーを仰く趣館はいまヤンキー・ガー

月曜は野猪や休めるといふ歌もめが日曜にき締しいものを食ふから

就 5 獨 2 戦 と 2 聯 の 勝 來 性 … 大 司 富士夫 月 士 日 本 的 離園 像 5 構 想 … 津 田 剛

辰己商事株式會社 京城府古市町田三

工事設計施行 **保温**耐熱 防火 爾哥尔哥大赛八十四六番

とる點だけでもセオラの性 に無關心の様です。齒石を 歯の悪い方ほど歯磨の性能

布本村町沙東化學研究所 十二色 ロ紅八色 十二色 ロ紅八色

特に協力倍強に! 愛聞 世六韓 能は持筆されていいでせう

くの方や御心配の人といこうりお困り

中尾本家

はの教養

なごく勢命の書。
いいて本書は夜宵をつくしたりのに本書は夜宵をつくした。 大別な趣は父母の手物、 体材。 大器とするも、凡別な趣は父母の手物、 体材。 大器とするも、凡

個三〇〇第1元

康で 盛用蔥

(本式の) 神奉公

私のよ

社

材

平岩米 古著 (東・〇) (東・五 地)・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に扱うな料学の整介を ・3年に対する

億。半ば遂に突破

貯蓄京城

館人型が毛を監問、更に深層町方

遺族 慰問 関

甲種

か、名頭雲陵流の目襲しい闘力に「午後二時から京遊酢駿四院委員総三韓郷セとくのへての泰公正りだ」目標達成のための駿越館が二三日

と製造が思望されるが完全消化の で今後の消化には更に一層の腐力

御め委員二十六名出常領々観鑁を集、千田総務部長総力觀提係員を 檢查委員會府の事業施設

遺家族をはじめ同町在住の際の家はさる九日阿幌町佐々木奥一郎氏

日曜の手順をこの

学農長高の激りである志願兵制度

襲

東
大
門
署

が
力
瘤 に洩れるな

ラ、東京を店な巫族會(東京) ◇ハ・〇〇昭南、バタビヤ、× 会唱『忠嶽塔の歌』 指導伊藤武

再度來演! 機發的人氣王!!

皆様の熱望に應へ新番組編成

地四就拾

神經科

の貯蔵性属や差げる転覆がりだ。集、千田約券派長総労郡操保員をソル月末現在までに民に五朝三一で断改廣共會、熟産部会員會を召り 年は一蹶九百五十陥高」とげたが『今年も且無難突傷に悪・蹶人等の親切を振過することになって 保泉消化の管涵に「徳め委員二十六名出帯浦大戦談や「任委員議は氷菱浦逸設市場の程定」



一八年ぶり 張切る道廳體育大會 製造、平紫の猛闘様に物学

報の食権配答義技】 部長らの微戦力無振りがあつて午 響等部が厭然成績優秀、山本内務 愉快な一日

開催、遷総省は一人も建らざず取

三日午後一時から同驚肌示感に

常夏の島(引)

£237,

竹田敏彦(作)

實織成大會は十一日午前八時から「原正男氏以下五十二景城食施養國際本町中隆の初の艦」名▲元山赤田公立国

正しい品を正しい性格一部所案内から製者の感動まで一切 不能いてやることとなったが、これ

人位人道、暖い車 た

【異選=炎油繁理に魅力する本

通行人への 注意として

交通整理に兩署員汗だく

と十二日が

署長さ

h

Ø)

陣頭指揮

文武兩道の馬淵部隊長 開上、林総領等に観望し

格宴を受けた馬浦部隊長は

その場で記載を加へ再びその後

氏以下全署員は総出動して街にく八時、登進安全の宣煕寮を正門人

行、殊に階級や昇降するときに は途中で立止寒らぬやうお互に 便宜や闘けませう

南方むけの折紙

出かしたぞ威北食用ミー

凄い井邑の國語熱

を 治庫をかけて あるがそり

節や場所等の斡旋に積極的に表 治二百歳に近し受職者は一萬五 てゐる殊に帰玄子の國語繁

の食卓へ威北の鑑が進出するの

【素砂】歴に総れる秋の 官民も稻刈り應接

に用方仰きと近紙がつけられ南

今安らかに脳が道内が臓器でかり

【釜山】 朝鮮勞務路會經門又出

産業戦士の修練道場

程上選してゐる

に五町形の窓を座か一時間近

時から同校々既で促す

その用

★添添添件月報(九月號八十姓)大道、東公園、三一、南淅洲線道大道、東公園、三一、南淅洲線道大道、東公園、(十月健)南少年向道俗様、大道、東公園、三一、南淅洲線道大道、東公園、大道、東公園、大道、東公園、



税の旗本鐡火期に大下御のた天下御り三拍子

封十四日





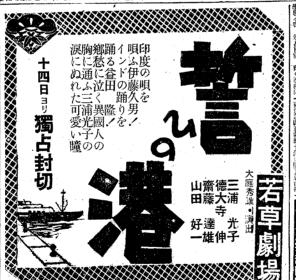
お臺所へ配る八千枚

処事の音樂會

連れて重型験部の中に加なり、同一姿勢子さんも見た 和市のある。東京戦争で、乗り上で、大大な大大な、 を関わりに対して、大大な大大な、 を関わった。ない、 をした。 をした











背腹n 野村 の上が成ります。 の上が成ります。 一般をは、一般では、一般では、 一般をは、一般では、 一般をは、一般では、 一般をは、 一をは、 とをは、 とを、







立正堂















1 | Taylory (Taylory) | 1 | Taylory | 1 日本ニュース 調を削る 娘達 動物防薬戦 地 帶の 寶 地 帯 京 京 日 (本)

二號型(五行)

京劇

百八十名が一糸亂れ ぬ統制下に描く空前 め領洩れは絕對なし天像は二重防水のた **遇日滿員御禮** 鍾路バコダ公園横 表發別特目種十二 本海海作新

の妙技!!

しんぞう病

疲勞恢復弱体強化

関で動き間で 原工日本:、

| Cal De Black | Sale | Sale

一种

民利支

畑軍、ス市に新鋭部隊を増援

日泰兩軍間に成立調印

を得め、

體芯を强

め 3

城

8

納國性部 た谷畿 医し水

十寶総

1 8

基地ご後方連絡に活躍する海軍輸送機隊號場門

その他凡ゆる化膿症に

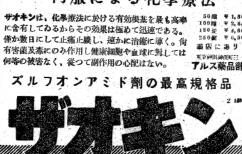


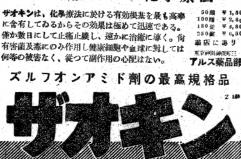
瓔

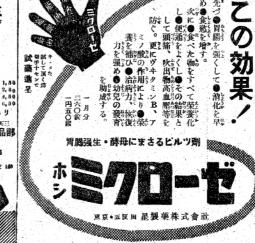
Les Maries

大人用・小児用・各三〇画分(三田製品) を賦興せしめ結核の感染 を賦興せしめ結核の感染 を減失さ、未然に阻止する が病を、未然に阻止する

内服による化學療法







血

核患者の眼後が健康人の間後と非

に膜肋・患肺 てれた第一派の色からしてちが、

結核 するからでめる。だから、こめのあっ は脚目だ。一日一球ネカドラミンで見がけにの 殺淨

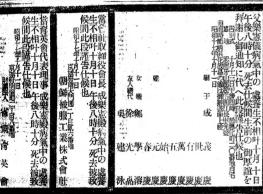
菌血

のオド









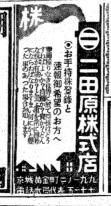
吉村公三郎

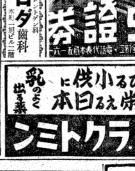
た前に映

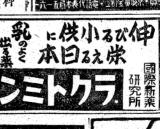


























好調の第







式株



弱兒

